

News Release

2024年4月19日
チューリッヒ保険会社

「大阪府 チューリッヒの森」プロジェクトを開始し 大阪府豊能郡能勢町内の森林づくりを支援

長崎県、神奈川県に続き、国内3カ所目の森林整備活動を始動

チューリッヒ保険会社(東京都中野区、日本における代表者および最高経営責任者:西浦 正親)は、大阪府(知事:吉村 洋文)の「アドプトフォレスト制度」に参加し、大阪府豊能郡能勢町地黄内の森林において「里山活力創造の森づくり活動」を実施します。これにより、当社は長崎県、神奈川県に続き、国内3カ所目となる「大阪府 チューリッヒの森」プロジェクトを始動します。

このプロジェクトでは、大阪府と能勢町が実施する森林保全の取組みに当社が参画し、手入れが行われなくなっていた私有林の再生を目指して活動します。具体的には当社が5年間、対象森林の地拵えや植樹と獣害対策、下刈りなどの森林整備活動を実施するとともに、一部の作業を大阪府森林組合に業務委託します。災害に強く、活力のある自然豊かな能勢町の里山を再生し、次世代に引き継いでいくため、当社の社員も植樹や下刈りなどの森林整備を実施し、府と町と一体となって森づくり活動を行います。



大阪府公邸で行われた調印式

左から、能勢町 上森町長、チューリッヒ保険会社 西浦 日本における代表者および最高経営責任者、大阪府森岡副知事、堀江府議会議員

■「大阪府 チューリッヒの森」プロジェクトの概要

- (1)所在地:大阪府豊能郡能勢町地黄 56-1 ほか
- (2)面積:1.20ha
- (3)期間:2024年4月1日より2029年3月31日まで
- (4)作業内容:地拵えや植樹と獣害対策、下刈りなど

■チューリッヒ保険会社の気候変動への取組み

チューリッヒ・インシュアランス・グループ(以下、グループ)は、2014 年以来カーボンニュートラル企業として事業を行っており、2019 年には地球温暖化を 1.5°C に制限することを掲げた国連のグローバル・コンパクト「Business Ambition for 1.5°C」に最初の保険会社として署名しました。気候変動への取組みは大きなチャレンジですが、一つ一つの積み重ねが大きな力になると信じ、お客さまや社員、そして地域社会が私たちとともに行動を起こせるよう働きかけることで、より多くのことを成し遂げられると考えています。

日本国内においてもさまざまな地球環境に対する施策を実施しています。

- ・ 2022 年 1 月、喫緊の課題である気候変動の問題を日本の皆さまとともに考える契機にしたいたいの考えから、YouTube 公式チャンネル『Green Music produced by Zurich』を開設し、2024年 4 月には登録者が 18 万人を超えました。
- ・ 2022 年 10 月には、当社のスーパー自動車保険の新規契約のお客さまへご自身の運転における CO2 排出をオフセットできる「カーボンニュートラル自動車保険」の提供を開始しました。また、2023 年 10 月にはその対象を既契約のお客さまへ拡大しました。
- ・ 2022 年 10 月より「長崎県西海市 チューリッヒの森」を、また 2023 年 11 月より「神奈川県 チューリッヒの森」を開始し、森林づくりの支援を進めています。
- ・ 2022 年 12 月～2023 年 8 月、お客さまのオンライン手続き件数に応じて当社が寄付を行う“WeCare”プロジェクト第 2 弾を実施し、目標寄付額の 3,500 万円を森林保全活動へ寄付しました。

今後も当社はさまざまな活動を通して、森林保護再生活動に主体的に取り組む、気候変動および地域コミュニティに対して貢献してまいります。

気候変動に関する特設サイト: <https://www.zurich.co.jp/sustainability/>